

# TRANSONIC HEN-LINE

ブームエンドを外さなくても着脱が可能!!  
革命的なシングルストラップのハーネスラインが登場した



## ダブルからシングルへの発想の転換が ハーネスラインの常識を覆した。

ハーネスラインの着脱は、ブームエンドを一度抜いてから行うのが常識だ。新品のブームに新品のハーネスラインを付けるときは、ブームエクステンションのスライドもスムーズで、ハーネスラインのストラップもへたっていないので、取り付けるのにそれほどのストレスは感じないが、ハーネスラインが切れたときや、他のブームに付け替えるときに、使い込んだ状態でハーネスラインを取り外ししなければならないときは、かなりのストレスになる。外れなかったり動かなかったりして、時には貴重なセーリング時間を大きく犠牲にするはめになったりする。

だから普通は一度取り付けたら着脱しない前提下で、各ブーム毎にハーネスラインを取り付けている。3本ブームを持っていたら、3セットのハーネスラインを用意するというのが常識となっている。

簡単に着脱できれば、1セットあれば事足りるのだが、様々な分野で進化を続けるウインドギアにおいて、このイージーに着脱できるハーネスラインは、あきら

かに見逃されているスキマだ。そして、このスキマを埋めるハーネスラインがついに登場。ここに紹介する"HEN-LINE"と呼ばれるシングルストラップのハーネスラインだ。

ダブルだったストラップをシングルにしたことによって、セイルを張ったままの状態でも、1カ所だけブームに巻き付けるように取り付けられるのだ。また最近のセイルは、昔のようにドラフトが移動することがなくなっているため、ストラップを2つにして間隔を開ける必要は少なくなっており、実際ストラップ間をほとんど開けていない上級者も、たくさん存在するので、ダブルストラップの必要性が薄くなっているということも事実だ。

この"HEN-LINE"は様々なタイプがあるが、大きく分けると3つのタイプからなる。ナロータイプのフィックスとアジャスタブル、2点支持に近いワイドストラップのフィックスタイプだ。使用感は従来のタイプとまったく変わらず、かえってセイルのパワーポイン

## HEN-LINE SERIES



左からナローフィックスクラシック、ナローフィックス、ワイドフィックス、ナローアジャスタブル。なお、現在でも日々改良が加えられている。詳しくはカタログP.69、ホームページ <http://transonic.co.jp> を参照。実用新案登録済

トをより明確に感じることができ、ラインも捻れにくく、セイル返し後やフィンに引っかかることも少ない。何よりも沖で片方のラインが切れても、海上で反対側のラインを付け替えられることや、チューニングを変えたときに、位置を簡単に調整できるということは、うれしい限りだろう。